

謹賀新年



写真：平成28年の初日の出（火之神公園）

## 主な記事

- 委員会審査の概要・・・1P
- 一般質問・・・7P
- 議案と結果・・・9P
- 市民と市議会との意見交換会・・・10P
- 編集後記・・・13P

## 編集

枕崎市議会報調査特別委員会  
〒898-8501  
枕崎市千代田町27番地  
TEL：0993-72-1111

# 台風第16号による災害復旧事業で 1億4,640万円を追加

- ・公共土木施設災害復旧費4,600万円
- ・農林水産施設災害復旧費9,450万円 など

## 平成28年第4回定例会・第5回臨時会

平成28年第4回定例会は9月2日から29日までの28日間、平成28年第5回臨時会は10月25日の1日の会期で開かれました。  
第4回定例会では、予算関係議案5件、平成27年度各会計の決算の認定7件、条例の改正3件などについて審査を行い、5日の本会議では、5名の議員が一般質問を行いました。

第5回臨時会では、予算関係議案1件について審査を行いました。

### 委員会審査の概要

総務文教委員会

○議案第61号

枕崎市条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第62号

枕崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第61号は、租税条約を締結できない台湾との間で租税条約に相当する枠組みを構築するために、昨年11月、日台両団体において「日台民間租税取決め」が

結ばれ、その内容を実施するための国内法の整備がなされたことに伴い、所要の改正等を行うようとするものです。

**答** 全国的にも事例は確認されていないと伺っており、影響はないのではないかと思っております。

**問** 今回の税制改正の背景はどのようなのか。

**答** 租税条約の締結というものの第一の目的は二重課税の防止であり、今回、台湾との間で民間団体が租税取決めを行ったことに伴い関係政令等の改正もなされ、その法体系上の整合性をとるものである。

**問** 本市においては現行もこの条例の改正後も改正内容が適用される見通しはないという

○議案第63号  
枕崎市少年の森の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

現在、枕崎市少年の森の施設、管理棟及び野外調理場等は、昭和60年度建設のため老朽化が進み、アスレチック施設も安全に使用できないため立ち入り禁止としているとのこと

また、水道水の水质検査において、飲料水としては不適との検査結果から衛生上の問題、さらに利用者も減少していることから、平成28年4月1日から施設を休止しており、このような状況から施設を廃止しようとするものです。



少年の森の施設の調査

# 新年のごあいさつ

枕崎市議会議長 新屋敷 幸隆

新年あけましておめでとございます。

昨年を振り返ってみますと、特筆すべきは、台風第16号による被害であります。市全体に大きな傷跡を残しました。台風常襲地としましては、災害に強いまちづくりのため、なお一層の防災対策を図らなければならぬと強く思うところでございます。

産業面におきましては、基幹産業であります鯉節の製造工場が、フランスに建設されました。日本の伝統的な味が、我が市の先人たちが守り育んできた鯉節が、世界にデビューしようとしています。

文化・芸術面では、第1回枕崎国際芸術賞展が開催され、国内外より多くの作品が集まり、南浜館を軸とする文化・芸術活動が、風の芸術展に引き続き国内外に認知されようとしています。

議会においては、3回目の市民との意見交換会を4会場で実施しました。市民の皆様より多数の御意見・御要望があり、それに応えるべく議会活動を、さらに積極的に、かつ速やかに取り組む所存であります。

また、私たちは枕崎人として誇りを持ち、安心・安全で豊かなまちづくりを念頭に、市民の皆様と共に構築していかなければならないと固く決意するところでございます。新しい年が皆様にとりまして、より良い

実りのある年でありませうと祈念いたしまして、新年のあいさついたします。

**問** 廃止理由の1つに飲料水として衛生上の問題があるとのことだが、いつごろから出てきているのか、そのときの状況はどうだったのか。

**答** 平成25年7月に行った水質検査において水質基準に不適合との結果となり、その原因としては、ろ過装置の故障によるものである。なお、平成26年度以降、管理棟等を使用している状況はない。

## ■委員からの意見等

・少年の森においては、これまで多くの子供たちがキャンプやキャンプファイアをしてきたことから多くの思い出が残っている場所であり、少年の森跡地としての記念碑を建ててほしい。

・本市で最も景観のよい場所であるので、桜などを植えるなどして散策等のできるようなところにしてみらえるように公民館へ要望してほしい。

## 予算特別委員会

### ○議案第56号

平成28年度枕崎市一般会計補正予算(第3号)

### ◇補正予算の主なもの

#### 鳥獣被害対策実践事業

**問** 鳥獣被害対策について

**答** 鳥獣による被害は毎年増加の傾向にある。また、本市の猟友会には32名が登録されているが、狩猟をされる方の高齢化は一つの課題であり、その対策として、農家の方々に対し、わなの免許などについて周知していきたいと考えている。わなの免許は自己所有地であっても必要であるが、免許の取得に当たっては、初心者講習などの講習料に対し2分の1の助成がある。

**問** 鳥獣被害対策に係る次年度以降の電気さく等の事業について

**答** 公民館長等に事業採択に係る要件等もあわせて紹介をして、要望等を伺った上で今後の対応を検討していきたいと考えている。

## ■委員からの意見等

・鳥獣被害対策の事業は、営農面で救済する

のであれば、当該年の作物が被害を受ける前に予算執行ができるように先手先手の攻めの政策をとってほしい。

・事業の予算的な制約や採択要件等を考慮して計画を練ってほしい。

・イノシシによる農作物等への被害は大きく、耕作放棄地がふえてきている。農業にとつて大変な問題になりつつあるので、被害対策に早急に真摯に取り組んでほしい。

## 広域漁場整備事業

鹿児島県が事業主体となり、県内をさつま地区、鹿児島湾・大隅地区、熊毛地区、奄美地区の4地区に分けて漁場整備を計画してい

る。平成28年度のさつま地区の予算額は4億3590万円で、そのうち増殖礁の整備は9000万円となっており、実施箇所は、出水市、長島町、本市の3市町である。

本市は、イセエビ礁設置の事業を行うものであり、事業費は4500万円で、その10分の1の450万円が本市負担となっている。

## 危険空き家等解体撤去事業

**問** 危険空き家等解体撤去事業について

**答** これまでA判定とした危険空き家は51棟であり、そのうち23棟が解体、1棟が改善処置され、平成28年7月末現在で27棟となっており、校区別には、金山校区7棟、桜山校区6棟、立神校区2棟、枕崎校区9棟、別府校区3棟となっている。



## 空き家調査事業

**問** 空き家利用の取り組みについて

**答** 空き家バンクの設置に向けた作業を進め、来年度は、空き家の貸借の仲介をしてもらう市内の宅建業者の方々も巻き込んで、本市なりの空き家バンクの設立にこぎつけたいと考えている。

## 委員からの意見等

・ 利用可能な空き家のリフォームをする場合は、銀行からの融資や金利面での優遇措置が得られるような支援策を講じてほしい。

## 臨時財政対策債

**問** 市債の臨時財政対策債の減額理由について

**答** 当初予算において地方財政計画の伸び率を勘案し3億340万円を計上していたが、今年度の普通交付税が7月26日に決定し、その算定による発行可能額が2億8645万9000円と決定したこ

とから、1694万1000円の減額補正を行うものである。

## 生活保護制度

生活保護制度の運用については、各ケースワーカーが定期的に訪問するなどして、課税状況、所得状況、資産等の調査などを定期的に行い把握している。就労が可能なところには、ハローワーク等を通じて就労支援を行うなど、随時適切な対応をしている。

## 臨時福祉給付金

**問** 臨時福祉給付金について

**答** 平成27年度は対象者が6165人、支給人数が5926人で、全対象者に対する給付率は96・1%である。臨時福祉給付金を辞退された方は75人である。また、未申請者に対しては、申請をされるよう勧奨の電話や通知を出したが、それでも申請をされなかった方

が多かった。

## 少年の森施設解体撤去工事

**問** 少年の森施設解体撤去について

**答** 土地所有者の債権田公民館の役員の方々と現地で協議・確認を行い、建物等を解体撤去することとなり、工事完了後は土地所有者へ返還する。

なお、少年の森の飲料水の水质検査は、平成26年度まで実施しており、平成27年度からは実施していない。

## ○議案第57号

平成28年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

補正予算の内容は、平成27年度の決算確定に伴う繰上充入金3335万円の減額である。

## ○議案第58号

平成28年度枕崎市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

案について県に対し市町村から早く示すよう要望をしている。また、素案が出てからの対策では遅い場合もあるの

で、本市の納付金の金額が少しでも小さくなるように、さまざまな係数、算定方法について検討し、県の会議等で要望していきたいと考えている。

また、新国保制度で本市の国保税率については、今後、県から3通りの標準保険料率が示される予定であり、それらを参考に市内の関係課を中心に協議し設定することになり、税率改定を前提とはしていない。

## 委員からの意見等

・ 県から標準保険料率が示されないと新国保制度に向けた準備がでないというのではなく、ぜひ早い段階で準備をしてほしい。

## 計補正予算(第1号)

補正の内容は、平成27年度決算に伴う精算分で、後期高齢者医療広域連合納付金、一般会計繰入金精算返納額の増額である。

## ○議案第59号

平成28年度枕崎市介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正予算の内容は、介護給付費準備基金積立金、介護給付費負担金等返納金及び一般会計繰入金の増額である。

## 委員からの意見等

・ 今回の介護保険料の算定誤りに関して、介護保険料の算定に係るチエックについては、7000円の減、下水道整備費が9963万をできるだけ細かくし、2000円の減、公債2人体制ぐらいで行い、費が86万4000円の減である。

についても今後考えてほしい。

## ○議案第60号

平成28年度枕崎市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

補正予算の主な内容は、人事異動に伴う人件費の減、一般管理費の消費税及び地方消費税の確定申告見込みに伴う公課費の増、下水道整備費の交付金内示額に伴う委託料の減及び工事請負費の増、事業債の利率見直し及び平成27年度借入分事業債の償還金利子確定に伴う公債費元金の増及び公債費利子の減であり、一般管理費が84万

## 第4回定例会

予算特別委員会欠席者 茅野勲委員(所用のため)



○議案第67号  
平成28年度枕崎市一般会計補正予算(第4号)

補正の内容は、台風第16号による災害復旧事業であり、内訳として、公共土木施設災害復旧費が補助災害3600万円、単独災害1000万円、農林水産施設災害復旧費が補助災害7520万円、単独災害1930万円、文教施設災害復旧費が単独災害371万5000円、その他公共施設等災害復旧費が単独災害218万5000円となっている。



災害箇所の調査

**問** 住家の浸水被害について  
**答** 宮前町での床下浸水の経緯については、以前、宮前付近は農耕地であったが、住宅地として急速な発展により浸透水が減少し、既存水路への流入流量が増加したことから、平成5年に上流で尻無川へのバイパス工事を行

おいても災害に対する準備をしていただき、行政と一緒にさせていただき、対応を行わなければならないと考えている。  
**問** 今回、激甚災害に指定されたが、災害復旧補助対象の農地災害復旧工事費の40万円以上という条件が緩和されることはないのか。  
**答** 緩和措置はなく、個人で復旧することになる。なお、多面的機能支払交付金の対象地区は、その交付金を利用して復旧できるものもある。

**決算特別委員会**  
○認定事項第1号  
平成27年度枕崎市一般会計歳入歳出決算  
職員健康診査のVDT作業従事者健診  
全職員を対象に検査の通知を行っており、体調等を考えて実際に健診を受診した職員は1人であった。  
また、石綿障害予防健診については、現在、公共施設等では石綿の使用はないが、過去に水道課等に勤務していた職員に対して、法に基づき定期的にレントゲン検査を実施し観察を行っている。  
**委員からの意見等**  
・職員が健康でなければ事務上のミスも生じやすいと思うので、定期的な健診は今後も継続して実施してほしい。

となどについて  
**答** 寄附に対する返礼の割合を高くすることについては、他市等の状況をはじめ、ふるさと納税の本来の趣旨を踏まえての検討や年度途中における一般財源の確保などについて調査・検討を行うとともに、返礼品の協力事業者や品数をふやすことを含めて、現在、制度の見直し作業を進めている。また、返礼品の追加等については、寄附の申し込みがふえることが見込まれる年末を目途として準備をしている。  
**委員からの意見等**  
・現段階で返礼に要する財源を年度途中に確保することが難しいとのことであるが、積極的に取り組んでいないような印象を受けるので、もっと積極的に取り組んでほしい。

【各会計の決算状況】

会計別	歳入(決算額)	歳出(決算額)	差引額	
一般会計	116億0,747万8,891円	112億1,681万5,188円	3億9,066万3,703円	
特別会計	国民健康保険	46億0,739万6,592円	46億9,404万6,309円	△8,664万9,717円
	後期高齢者医療	3億1,873万4,188円	3億1,627万1,281円	246万2,907円
	介護保険	23億1,464万3,785円	22億0,096万0,142円	1億1,368万3,643円
	公共下水道事業	7億8,308万6,647円	7億5,666万1,067円	2,642万5,580円



市立図書館の調査

うなものは、今のところ考えられない。

■委員からの意見等

・市の債権のうち、私債権の管理や徴収などの事務処理は、公平負担の観点から特に留意してほしい。

○認定事項第2号

平成27年度枕崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

○認定事項第3号

平成27年度枕崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

問

本市財政全体として、今後、歳入の増加が期待できる要素はないのか。

答 歳入の今後の見通しについては、市債を除いて増加が期待できるものとして、事業に取り組みばそれに対応した国県支出金、地方債等の増加はあるが、一般財源としては、最近では地方消費税交付金が消費税が5%から8%に上がった分ふえてくるものの、そのほかの収入については、劇的に増加するというよ

は、概算ベースの前期高齢者の給付費と比較して確定の実績は1億2500万円少なく

つたが、特に平成26年度ほど概算と確定の差

が大きくなかったことから、平成29年度は平成28年度ほどの大きな減額はないと見込んで

いる。

平成27年度の概算と確定との差額が1億2500万円生じたこと

とに係る健全化行動計画の見直しへの影響について

平成29年度の前期高齢者交付金の額に影響はあると思っ

ているが、前期高齢者交付金の算定方法が、本市の前期高齢者の給付費と

被保険者全体に占める65歳から74歳の割合に

加えて、全国ベースの被保険者の割合が影響

してくることから、現段階での試算は難しい

と考えている。

委員からの意見等

・国保税の収納率が前年度より上がっている

ことから努力していることはわかるが、金額的な面から見ると、本市の国保運営に大きく

かわってくることから、今後でもできるだけに

徴収率を上げるように努力してほしい。

医療費の年代ごとの収支を分析することが医療費削減につながる

の分析をしているので、その分析をしてほしい。

平成27年度枕崎市介護保険特別会計歳入歳出決算

問

介護保険の予防給付の事業が総合事業へ移行することに伴う影響等について

総合事業については、介護保険の予防給付の事業を地域支援事業に移行し、市がメニューを事業者と調整しながら考えることにな

る。

実施主体は、これまで予防事業を行っていた事業者であるが、新

たな多様な主体の力を借りて、多様な主体によるサービスを提供する

という仕組みの構築が国の基本的な考え方

となっており、地域の方々、あるいはNPO

法人等で予防や健康づくりに関する事業を行

っている多様な方々に参加してもらいたい

と考えている。

また、サービスメニュー内容については、

現在、協議中であるが、必要な方が必要なサービスを受けられるよう

なサービス見込み量を立てて、事業者とも調整をしていきたいと考

○認定事項第5号

平成27年度枕崎市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

問

下水道使用料及び受益者負担金の未納状況に関することや、下水道接続の状況などについて

答

下水道接続の普及促進については、平成30年度には水冲洗化率を90%程度に上げること

を目指して、9月10日の下水道の日前後には、

水冲洗化率の低い箇所を集中的に、職員が下水道

接続の趣旨や汚水処理方法の違いによる経

済比較等を説明しながら個別訪問を行ってい

るが、なかなか効果が

出ていないのが現状である。

また、平成28年度に

おいては、事業所等のほかに未接続の飲食店

等を重点的に接続のお願いをしているほか、

集合住宅、アパート等

についても管理者等において

○認定事項第6号

平成27年度枕崎市立  
病院事業決算

**問** 患者数が減少した要因等について

**答** 患者数の減少については、本市の人口自体も年々減少している中で、人口の自然減による影響や、病院より老人ホーム等の施設入所者がふえていることも要因になっているのではないかと考えている。

■委員からの意見等

・平成27年9月の決算審査で示された平成27年度収支計画と比較して、収益のほうでは入院収益をはじめ個々に計画以上の成果を上げており、費用のほうでは計画より低めに抑えられた結果となったことを評価したい。

・病院事業会計における本業は医業であるので、まずは本業本来の経営状態が適正であるのかを把握すべきであり、そのためには減価

償却費を除いたかたちで医業費用と医業収益の収支状況をつかむなど、違った角度での経営分析も必要ではないか。

・病院事業については、小児科診療や病児保育事業が好評で、多くのお母さん方に喜ばれている一方で、最近の病院患者数が激減しているのが非常に気がかりである。そのらの対応策についても真剣に取り組んでいただきたい。

・医療費の未収金については、所在不明者、死亡者に区分される方々の徴収事務には経費も時間もかけながらその成果もさほど期待できない状況にあるが、事務の効率化という点からも、時効成立となる未収金に該当するものはないか再度精査し、対応を検討してほしい。

○認定事項第7号

平成27年度枕崎市水道事業決算

**問** 水質検査について水道法では浄水を検査することとなっていることであるが、浄水の検査については、毎月検査10項目、おおむね3カ月ごとに51項目実施している。

また、水質検査については、鹿児島市内の業者に一括業務委託しており、枕崎市内すべての浄水場区域において問題はない。

■委員からの意見等

・水道課においては、上水道の衛生管理に限らず、簡易水道組合等に対し指導的役割を担い、本市全般の安心な飲料水供給ということを取り組んでほしい。

・水道料金の未納者への対応については、仕事の効率を上げることにも考慮して適切に実施してほしい。

・今後予想している赤字対策として職員の減給水戸数は減り、老朽施設の対応もあることから、5年後ぐらいを

見据えた歳入歳出全般にわたる事業計画を早い段階でつくってほしい。

【公営企業の決算状況】

会計別	収入(決算額)	支出(決算額)	差引額	
病院事業	収益的	6億7,913万5,103円	6億5,660万8,938円	2,252万6,165円
	資本的	221万0,000円	2,426万6,871円	△2,205万6,871円
水道事業	収益的	4億8,047万4,784円	4億0,774万1,733円	7,273万3,051円
	資本的	6,246万8,193円	2億3,693万0,759円	△1億7,446万2,566円

議会を傍聴してみませんか

本会議及び委員会は、原則として一般に公開されており、どなたでも傍聴することができ

ます。議会では、市の予算・決算、条例制定をはじめ、皆さんの生活に関わりのあることが議論されています。

また、ご自身が選ばれた議員が、どのような活動をしているのかを目の前で見ることができると、市議会活動に触れる最も身近な方法です。

議場へ足を運ぶのがなかなか難しい方は、インターネットで本会議の映像を配信しますので、ぜひご視聴ください。

傍聴の手続

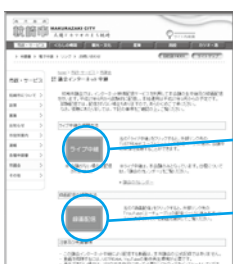
傍聴を希望される方は、3階入り口に置いてある傍聴券に記入し、箱に投函してから入場してください。

市のホームページからアクセスできます。

市のホームページの「議会インターネット中継」のページにアクセスしていただき、注意及び免責事項をご確認後、ご視聴ください。

**ライブ中継** ● 枕崎市議会の本会議の映像を「U S T R E A M」でライブ中継しています。

**録画配信** ● 枕崎市議会の本会議の映像を「Y o u t u b e」で録画配信しています。





市民の健康の現状と地場産業活性化のためのふるさと納税の推進について



■ ■ ■ 明 史 城 森 議員 ■ ■ ■

問 枕崎市の平成25年度国保における1人

当たり医療費は、約46万円で県平均より約8万円高い。また、脳血管疾患の死亡率は、県内の市町村の中で男性はフースト

1、女性はフースト5であり、市民の健康状況は非常に厳しいものがある。どのように対応するのか。

答 今年から5年間、第2次健康まくらぎ21に沿って、脳卒中対策と健診受診率向上を重点施策と位置づけて取り組んでいく。

問 かつて長野県は脳卒中の死亡率が非常に高い状況であったが、減塩運動等の取り組みにより、今や日本

一の長寿県となつていく。また、長野県は野菜摂取量も断トツで日本一である。

本市の食塩摂取量は多くないが、野菜摂取量が少ない。野菜の必要量は1日350グラムとのことである。例えば、干切りのキャベツであればみそ汁茶わん4杯ぐらいに相当する。今後、減塩や野菜摂取の改善の対策はどのようにするのか。

答 市の管理栄養士と食生活改善推進員が一体となって減塩に取り組んでいる。野菜摂取をふやすことは非常に重要な課題であると認識している。

問 本年度のふるさと納税の寄附額は幾らか。

答 8月29日現在、547万円である。

問 ふるさと納税は、財政の健全化に寄与しかつ返礼品は本市の特産品を使用するため、地場産業の振興につながるのか、本市に

とつて一石二鳥の制度である。県内の多数の市町村が大きな成果を上げていく。ふるさと納税の推進を切に要望するがどうなのか。

答 返礼品については、農産物をふやすためにJJAと協議したが協議が整わなかった。返礼品は、現在、ふやす方向で検討している。

平成30年度から始まる新国民健康保険制度について



■ ■ ■ 徳 幸 立 石 議員 ■ ■ ■

問 国民皆保険制度発

足以来、最大の改革である国民健康保険制度の都道府県化が平成30年度から実施される。新制度移行の準備スケジュールはどのようになっているのか。

答 国保改革は、国保

新制度移行準備連絡会議と3つの部会において納付金の算定方法・運営のあり方を検討中である。簡易版の算定システムを活用し、本年度中に素案作成、平成29年11月を目途に最終案を決定する。

問 鹿児島県は、保険給付費の推計をもとに、県下全体の納付金の収納必要総額をどのように算出するのか。

また、納付金を納める基本となる根拠法令はどこにあるのか。

答 国民健康保険法第75条の7の規定に基づき、納付金を徴収する。医療費水準、所得水準の係数について協議を深め、最終的には県の運営方針の中で納付金算出方法を決定する。

問 本市国保の現時点の赤字額約4億600万円は、年度末に解消できるのか。

答 現時点での単年度財源不足見込み額約

3億2000万円と累積赤字の約8600万円の合計4億600万円については、国保会計と一般会計の収支状況を見きわめながら対応を検討していく。

問 毎年度本市が作成している財務書類の中で、特にバランスシートなどの活用をして本市財政状況の説明がなされるべきではないか。

答 市広報紙に市民1人当たりの資産、負債や純資産の前年度比較を掲載しているが、県下19市との資産状況の比較や老朽化比率などの比較も今後市民の皆様方に説明していきたい。

問 政府は育てる漁業に対し、補助金額の大きな事業があるが、取り組む考えはないのか。

答 養殖するにはいろいろな施設を講ずる必要がある、また、大型海外まき網船や運搬船の往来があり環境的に難しい。

問 沿岸漁業育成について、水産高校が取り組んでいる事業や研究拡大に共同で取り組む考えはないか。

答 水産高校は藻場の再生と稚魚の放流を実施しており、今後、漁協や関係団体と連携し沿岸漁業の振興に努めたいと考える。

問 本市は遠洋漁業支援に比べ沿岸漁業への支援は少ないが、補助事業を使って沿岸漁業を支援する考えはないのか。

答 6次産業化に係る事業等への支援については、商工会議所を通じて情報を発信していく。

本市活性化策について



■ ■ ■ 弘 和 清 水 議員 ■ ■ ■

**問** 県が18億円かけて建設した高度衛生管理型荷捌き所の問題点はないのか。

**答** 冷蔵庫から搬送トラック、かつおびし加工場などの製品出荷までの工程で高度衛生管理の整備がなされていないため製品価格に影響が出るまでに至っていない。

**問** ふるさと納税制度返礼品について、本市財政状況は県下19市の中で最下位が続いている状況にある。本市財政状況を浮揚させるためには現在、17品目ある返礼品数をふやすべきと考えるがどうか。また、これまでふるさと納税実績を上げるためにどのような活動をしてきたのか。

**答** 返礼品に不良品が発生しないよう設けた食品衛生環境基準のため、手続きが面倒だということで相談に応じていただけなかったところもある。

**問** 本市のホームページを含め、各ウェブサイトでPRしたほか、関西がしまフアンダーや各都市の枕崎会へも呼びかけをしている。

**問** 本市の寄附金は県下で何番目になるのか。

**答** 寄附金の多い少ないではなく、返礼品に異物の混入を防ぎ、特産品の評判を落とさないよう設けた食品衛生環境基準が厳しいという声があり、今現在、見直しをしている。

ると評価し、次点を枕崎市金山町及び南九州市川辺町山田との答申がなされた。

**問** 情報の公開はこれでよかったのか。

**答** 選定委員会の開催期間中、組合議会から公表はなかった。また、協議会の中でも示されていない。本市が情報公開するわけにいかない。途中で協議会を開いてもよかつたのではないかと思っている。

**問** 水質検査について、市報には亜硝酸態窒素の結果が載っていない。本市のホームページ等で公表する予定はないか。

**答** 亜硝酸態窒素単独の検査を含めて水質基準51項目を毎年、ホームページに公表している。

**問** 亜硝酸対窒素の基準値は、見直し後幾らになったのか。

**答** 平成25年度までは硝酸態窒素と亜硝酸態窒素の合計量が10ミリグラムパーリットル以下であったが、極めて低い濃度でも健康に影響があることから、単独の検査で0.04ミリグラムパーリットル以下が設定された。

**問** 硝酸態窒素・亜硝酸態窒素の健康への影響は。

**答** 亜硝酸態窒素については、近年の知見から低い濃度でも乳幼児のメトヘモグロビン血症への影響がわかってきた。硝酸態窒素・亜硝酸態窒素の発がん性については、本市の胃がん、消化器系のがんの発症率に関するデータはない。

**問** 0.03ミリグラムパーリットルが直ちに遵守困難な業種に対する経過措置として、平成28年7月から平成31年6月まで6.00ミリグラムパーリットルが適用される。このことについては、関係農家には周知している。

**問** 各事業者の今の排水基準の検査は終わったのか。

**答** 各農家が行うことになっており、把握していない。

**問** 各事業者の今の排水基準の検査は終わったのか。



**新広域ごみ処理場建設について**

■ 男 議員  
■ 通 員  
■ 占 補

**問** 建設候補地の選定は。

**答** 南さつま市金峰町高橋を最も適してい

る中、さらに2割負担の対象を広げようとしている。

**問** 厚労省の姿勢は、余りにも暮らしを無視していると思うが、市長の見解を。

**答** 高齢化の進展に伴い、今後さらなる保険料水準の上昇が見込まれる中、世代間・世代内の公平性を確保しながら、今後の介護保険制度の持続可能性を高める観点から行われるものであり、国における検討の状況を注視していく考えである。

**問** 国民年金で暮らす高齢者の方は、ぎりぎりの生活をされている。このことをどのように考えているのか。



■ 子 議員  
■ 留 員  
■ 豊

**命をつなく介護保険制度のサビス切り捨てについて**

**問** 介護保険は2000年の制度発足以来、利用料は1割負担でした。

**答** 昨年8月から利用者2割負担を求め利用者の怒りが広が

**問** 1号被保険者の自身の世帯で、年金収入が280万円以上の方が2割負担の対象となっている。厚労省がどのような検討結果を出すか注視していく。

**問** 生活援助については、身体介護と違って、専門性がなくともできるので保険から外すというのは少し違うのではないかと。全国的に介護従事者が不足し、国は全国で5万人の介護職員をふやそうとしている。身体介護は専門的知識を有する介護福祉士に、生活援助は多様な方々のお力を借りてサービスを提供していく。

**答** 保険給付から外すとされている車いすなどが自己負担となると介護度の重度化を招き、保険給付の増大となり、今でも不足している介護人材の不足にもつながるのではないかと。福祉用具の貸与等については検討中ですが、国の状況を注視していく。

議案と結果

平成28年第4回定例会

番号	議案名等	議決結果	番号	議案名等	議決結果
議案第56号	平成28年度枕崎市一般会計補正予算（第3号）	可決	認定事項第2号	平成27年度枕崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	※認定
議案第57号	平成28年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	認定事項第3号	平成27年度枕崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	※認定
議案第58号	平成28年度枕崎市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	認定事項第4号	平成27年度枕崎市介護保険特別会計歳入歳出決算	※認定
議案第59号	平成28年度枕崎市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	認定事項第5号	平成27年度枕崎市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	※認定
議案第60号	平成28年度枕崎市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	認定事項第6号	平成27年度枕崎市立病院事業決算	※認定
議案第61号	枕崎市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決		平成27年度枕崎市立病院事業剰余金処分計算書	可決
議案第62号	枕崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	認定事項第7号	平成27年度枕崎市水道事業決算	※認定
議案第63号	枕崎市少年の森の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	可決	報告事項第2号	専決処分の報告について	報告
議案第64号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	報告事項第3号	健全化判断比率について	報告
議案第65号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	報告事項第4号	資金不足比率について	報告
議案第66号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	報告事項第5号	専決処分の報告について	報告
認定事項第1号	平成27年度枕崎市一般会計歳入歳出決算	※認定		鹿児島県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	
				議員派遣について	

議案と結果

平成28年第5回臨時会

番号	議案名等	議決結果
議案第67号	平成28年度枕崎市一般会計補正予算（第4号）	可決

（議決結果欄の※は、採決で賛否が分かれ、賛成多数または少数で議決されたもの）



# 市民と市議会との意見交換会

市民と市議会との意見交換会が10月18日に市民会館と城山センター、10月19日に立神センターと別府センターで行われました。

まず、テーマに沿った意見交換会を行い、その後、自由討論を行いました。意見交換会の主なやりとり等については次のとおりです。

※については、後日、市当局（担当課）に聞き取りを行ったものです。

## ■ 主な質問・意見 ■

○テーマ（健康づくり）について「健康ですべての人々にやさしいまちづくりに向けて」

【会場】市民会館

**問** 本市の国民健康保険と社会保険の比率は。

**答** 国民健康保険は約7000人が加入している。社会保険は資料がない。

**問** 健康づくりのため歩いているが、中町旭町、泉町の境の五差路の交差点は、横断歩道が1つしかないため使いにくい。担当課に伝える。

**答** ※市当局 市としても当該交差点についての危険性は十分認識しており、警察署にも横断歩道設置の要望をしているということでした。  
**問** 長野県は、行政が酒、たばこ、塩分等の摂取を減らす運動

を行って平均寿命を延ばしてきたが、本市は行っているのか。

**答** 健康課の管理栄養士等が行っている。

**問** 今回のテーマも市民に関心を持ってもらうよう掲げた。本市における男女の平均寿命は。

**答** 平成22年のデータで男性78・4歳、女性86・1歳である。鹿児島県平均は男性79・21歳、女性86・28歳になっている。

**意見** 健康づくりのため歩くことはとても重要なことだ。86歳になるが実践していて、まさにそのとおり健康でいられる。

【会場】城山センター  
**問** 他市は専用のグラウンド・ゴルフ場があるが、本市における設置について、

議会から行政にどのような提案されているのか。

**答** 議会でもグラウンド・ゴルフ場設置等についての意見は出ている。

**問** 竹中区（水流の上）に小さなグラウンドがあり、グラウンド・ゴルフを行っているが、女性の方も参加する中、トイレに不便しているため、簡易トイレを設置してもらいたい。

**答** その施設が市の財産なのか、公民館の財産なのか調査して、市の財産でない場合は行政の担当課などに相談してアドバイスをもらうてはどうか。



市民会館での意見交換会

**答** 本市でも老人福祉計画・第6期介護保険計画の中で、高齢者を支える環境づくりに向けて取り組んでいる。

**問** 健康増進のためにジョギング・ウォーキングなどを行っているが、公園などに健康増進のための簡単な遊具が必要ではないか。

**答** 検討する。研究させていただきたい。  
**要望** 運動施設が少ないのでつくってほしい。本市は災害対策に力を入れて後回しになっているのではないかと。いろいろな補助事業でお願いしたい。

【会場】立神センター  
**問** 高齢者の健康対策（健康づくり・健康維持・健康寿命を延ばす）は行っているが、高齢者があまり参加していない。健診率が低く48%ぐらいである。健診を受けてほしい。元気度アップ事業、公民館事業に積極的に参加を促すべきである。これまでは支えられてきたが、今後は支え合う高齢者にならなければならない。元気度アップ事業などをどんどんやってほしい。

【会場】立神センター  
**問** 健康増進のためにジョギング・ウォーキングなどを行っているが、公園などに健康増進のための簡単な遊具が必要ではないか。

たいと考えている  
ということでした。

【会場】別府センター  
健康づくりもウオーキングとかいろいろあるが、本市はど  
ういった取り組みを  
しているのか。

答 特定健診の受診率  
を上げ、脳疾患等の  
予防に努めようと  
している。

塩分の摂取量が多  
いので、医療機関と  
も連携して調査し  
ている。

ジエネリック医薬  
品も使っていただ  
き  
たい。

問 健康に対する意識  
が低い人が多いの  
で、医療機関を別  
府地区の公民館で  
も開  
催してほしい。

答 11月に別府地区の  
公民館長の集まりが  
あるので、その中  
で  
提案したい。

行政・市民・医療  
機関と一致団結し  
て健康に対する意  
識を高めるよう取  
り組

でいかなければ  
ならない。



城山センターでの意見交換会

○自由討論

【会場】市民会館

問 みしまフェリーは  
運休したが、議会  
はどのように取り  
組んだか。また、  
それに伴う財政負担  
はあったのか。

答 全員協議会を開  
き経過を聞いた。実  
証運航を何度も行  
っているが、同じ  
岸壁を使う砂利運  
搬船や鉾石運搬船  
等の事業所との調  
整がつかない。た  
とえと聞いている。

問 財政負担はない。  
宮前踏切の近くに  
住んでいるが、9  
月の台風第16号で  
家の

周り数件が浸水に  
よる被害に遭った。  
大雨が降るたび水  
害が起ころ。対策  
を講じてほしい。

答 早急に対応を考  
えたい。(10月20  
日には議会として  
現地調査を行いました。)

※市当局 当該地  
区は、これまで巨  
費を投じて防災対  
策の事業を行って  
きたが、今回の浸  
水被害は、その設  
計を上回る雨量で  
あったことも要因  
であるのではない  
かと思っている。

今後の対策につ  
いては、一挙に大  
きな改修を行うこ  
とは難しいが、効  
果的な対応を検討  
していきたいとい  
うことでした。

問 消防署は海岸の  
近くにあるが災害  
時(津波等)、消防  
車(救急車)が出動  
して市民を助けら  
れるか。

答 この件に関しては  
議会でも取り上げ  
ている。

当局によると、本  
市への最大津波は  
3・79メートルと  
予想され消防署は  
海抜5メートルに  
あり、対応できる  
とのこと。  
問 市役所は今、耐  
震工事を行っている  
が、津波が来たとき  
は大丈夫なのか。も  
し、市役所がダメ  
じを受けたときの  
代替地はあるのか。

答 海抜が11メ  
ートルあるので安  
全と考えられる。  
問 国の指導で市の  
行政機能が使えな  
くなった場合、ど  
うするかという計  
画をたてる予定。  
【会場】城山セン  
ター  
問 昨年の会にお  
いて、山下集落の  
花渡川沿いのラン  
ニングコースは改  
修予定とのこと  
であったが、工事  
はいつ行うのか。  
答 市道としての  
整備になるのか、  
ランニングコース  
としての整備に  
なるのか行政に  
相談してみる。  
問 園見岳の景色は  
絶景であったが、  
今は枝葉が伸びて  
いるため、景色が  
悪い。どうにか  
ならないか。  
答 枝葉の伐採につ  
いては、個人所有  
のため勝手に切  
ることはできない  
と考えるということ  
でした。

※市当局 山頂付  
近は個人所有山林  
であるため、市が  
枝葉を勝手に切  
ることはできない  
と考えるということ  
でした。

問 山下集落付近に  
は臨時の排水ポン  
プを2カ所設置し  
ているが、想定外  
の大雨の時は非常  
に心配であり不安  
であるため、田畑  
や平田瀉のよう  
なポンプ場を設  
置してほしい。

答 台風災害の臨時  
会が10月25日に  
あるの担当課に  
聞いてみる。

【会場】立神セン  
ター  
問 ごみ焼却施設の  
建設予定地が南さ  
つま市に決定した  
と言われている  
が、どう

※市当局 山下地  
区において台風  
第16号による降  
雨でも床下浸水  
がなかったこと  
は、中洲川との合  
流部の改良など  
を含めた花渡川  
の大規模な改良  
工事の効果があ  
ったものと考えて  
いる。現在のところ  
新たなポンプ設  
置については考  
えていないとい  
うことでした。



立神センターでの意見交換会

【会場】立神セン  
ター  
問 ごみ焼却施設の  
建設予定地が南さ  
つま市に決定した  
と言われている  
が、どう

つているのか。

答 南さつま市・日置市・南九州市・本市の4市でつくる衛生管理組合の幹事会で協議しており、南さつま市1カ所、南九州市1カ所、枕崎市1カ所が候補地にあがっているが、地盤調査や地質調査をしてから決定される予定である。まだ決定はしていない。

問 内鍋センターの今後はどうなるのか。

答 内鍋センターは、当初、1市2町でつくり、その後、旧加世田市も利用するようになった。

問 本市に焼却施設が決定した場合は、中継施設として考えているのではないかと

思うが、まだ流動的で、決定しているわけではない。

問 本市の政務活動費は、どのようになっているのか。

答 廃止されている。田中公民館前の交

差点の一旦停止ラインが変わった。一旦停止の表示を強調するように改善できないか。

問 健康のために夕食後ウォーキングをしているが、花渡川沿いの歩道に街灯が一つもなく夜が危ない。街灯を設置してほしい。

答 検討課題にさせていただきます。

問 健康のために夕食後ウォーキングをしているが、花渡川沿いの歩道に街灯が一つもなく夜が危ない。街灯を設置してほしい。

答 検討課題にさせていただきます。

問 健康のために夕食後ウォーキングをしているが、花渡川沿いの歩道に街灯が一つもなく夜が危ない。街灯を設置してほしい。

域に防犯灯の設置要望がある場合には補助制度もあるので、公民館を通じて申請をあげてもらいたいということでした。



別府センターでの意見交換会

【会場】別府センター

問 若い人たちが働ける場をつくらないと若い世代の負担がどんどんふえていくので、人口減少を抑え、働く人が減少しないように取り組まないといけないのでは。

答 企業誘致を進めていかなければならない状況にあるので、地場産業に力

を入れて若い人たちが働ける場をつつていかなければならない。

問 9月号の市議会だよりに掲載されている火之神公園の活性化について、神話を生かしたストーリーづくりに取り組むとあるが、どのような取り組みをしているのか。

答 海幸彦・山幸彦の像を公園内に設置し観光の拠点となるよう取り組んでいる。

問 外国人観光客の誘致に取り組むとあるが、ターゲットはこの国からの観光客なのか。

答 香港や台湾といったアジアからの観光客を枕崎に誘致できるようにPRに努めている。

ればならない。

意見 呉の大和ミュージアムは、10年間で1000万人の入場者がいる。本市も大和の映画のロケ地なので、大和を生かした観光客誘致をしたらどうか。

答 火之神公園に平和祈念展望台が設置されており、観光客や参拝者の対応について観光ボランティアガイドにより行われている。今後関係団体等と協議しながら進めていきたいということでした。

意見 外国人の方が本市に宿泊して結婚式を挙げるといような企画をしてみたらどうか。

答 さつま鯉節協会のバック提供事業で行っている市内居住者及び市内会場における結婚式パック提

供事業の実績をみると、約3割が市内2カ所の式場で、残りは教会形式で行う市外の式場で挙式しており、そのような形式を好む傾向にある。外国人の結婚式も教会形式で行われるのが一般的である。本市内の式場にはそのような形式を備えているところはなく、また、外国語で対応できる状況にないところである。今後、研究をしてみたいと考えているということでした。





# アンケート調査結果

意見交換会の当日、参加者の皆さんにアンケート調査にご協力いただきました。

今後の参考にさせていただきます。

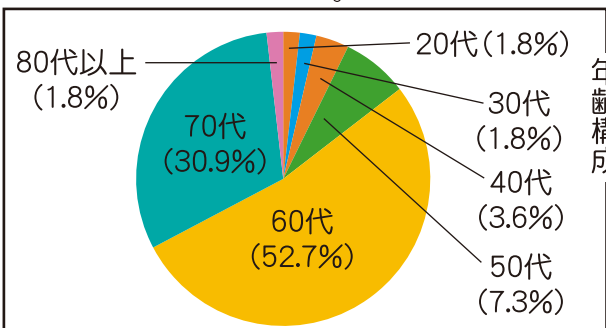
※紙面の都合で一部のみの掲載になっていますが、ご了承ください。

## 今回の意見交換会について何が気になった点等

- ・ 大いによいことと思います。年間回数必要
- ・ 「健康まくらざき21」の資料が大変参考になります。今後健康づくりに役立てたい。
- ・ 従来の意見交換会に比べ、活発に意見が出た点は評価できる。
- ・ 昨年までとすると出席が多かった。広報がよかったのでは。
- ・ 大いに賛成。次も続けてください。
- ・ 議論の深まりがなく、本題の核心まで行き着かなくて不満。

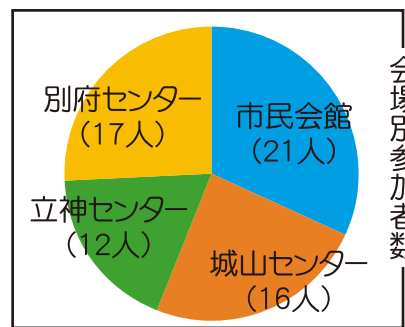
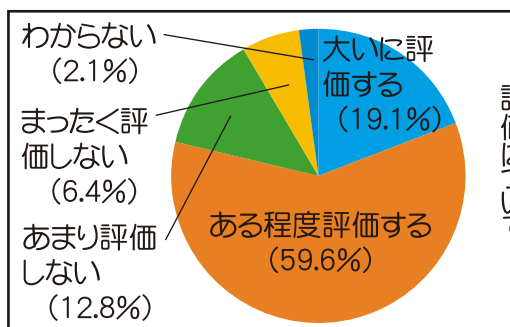
## 今後の意見交換会(テーマ含む)の内容、運営などについて

- ・ 自由討論の時間をもう少し長く。
- ・ 全て勉強だなと思えました。
- ・ 持ち帰り検討するが多すぎた。
- ・ 要望等前向きに十分な検討を願う。
- ・ 市民会館等で健康づくりになる講座をつくらせてください。
- ・ 意見を無視しないで生かしてもらいたい。
- ・ フロアからの意見を取り上げる時間と市議会が市民に尋ねたい内容をより具体的に提案・意見を求めることで、より活発に意見交換がなされるのではないかと思います。
- ・ テーマを会場のみならず理解するのに時間がかかった。プレゼンの仕方に問題があると思う。
- ・ テーブルとイスの部屋でお願いします。
- ・ 設定テーマに対する意見誘導等の面で大いに課題が残った。
- ・ テーマによる意見交換でなく最初から自由討論でもいいのかなと感じた。
- ・ テーマ(行政の要望)を絞って意見を出し合ってもらいたい。
- ・ 意見が出やすい雰囲気でした。
- ・ 検討の経過等について報告が欲しい。
- ・ 個人的な質問が多かった。
- ・ 健康づくりより施設要望が多い。
- ・ 公民館で開催したら参加者が多いかも。
- ・ 枕崎市では、これをするという説明をよくわかるようにしてほしい。
- ・ もう少しポイントを絞り具体性を持って日常の中で取り入れられるようなものはないのか(現在「ピール不足では」)
- ・ 全体的な意見交換会となると意見が出ていくため、人数が少数であれば全体↓個別な臨機応変な討論になるようにしたら個別意見が拾っていきけるように感じました。
- ・ 市や市議会は住民をマネージメントする立場で開催してほしい。
- ・ 行政が率先して動いていく時代は終わっていると思うが・・・。



はしないのか(現在「ピール不足では」)

- ・ 全体的な意見交換会となると意見が出ていくため、人数が少数であれば全体↓個別な臨機応変な討論になるようにしたら個別意見が拾っていきけるように感じました。
- ・ 市や市議会は住民をマネージメントする立場で開催してほしい。
- ・ 行政が率先して動いていく時代は終わっていると思うが・・・。



新年、明けましておめでとございませう。市民の皆様には、よ

## 編集後記

議会報調査特別委員会

- 委員長 吉嶺周作
- 副委員長 豊留榮子
- 委員 中原重信
- 委員 下竹芳郎
- 委員 永野慶一郎
- 委員 吉松幸夫

(吉嶺周作)

き新春を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

「一年の計は元旦にあり」といわれますが、平成29年の計画は、年の初めに立てて準備を整えてから物事は実行したほうがよいという意味であります。

また、昨年10月には、3回目となる市民と市議会との意見交換会を開催し、多くの皆様方からの意見・要望等を受け賜りました。私ども市議会としても、市民の皆様方の安心・安全な生活のため、勇往邁進してまいります。今年1年が市民の皆様にとって幸多き年でありますよう御祈念申し上げます。